

# 同種施設比較分析表



## 同種施設比較分析表

町田市が運営している“施設”の中でも「市民センター」「図書館」といった同種の施設に着目して、新公会計制度で明らかになった情報を有効活用するため、同種施設比較分析表を作成いたしました。

同種施設の所管課は、この比較分析表を分析ツールとして、同種施設を相互に比較・分析しました。財務情報と非財務情報を交えた施設相互の分析を推進することを目的として、効率性を表す指標と経済性を表す指標の2軸を基準とした分析グラフを活用しています。

また、当会計年度からは新型コロナウイルス感染症の影響の詳細を明らかにし、回復状況や今後の事業展開について分析できるよう、「事業の成果の月次推移」欄と「事業の成果の月次推移の分析」欄を追加しました。

各施設では分析で明らかになった知見を活用して、成果の拡大や運営コストの削減を図っていきます。各施設のより詳しい内容は、該当の課別・事業別行政評価シートをご覧ください。

- 同種施設の相互比較にあたっては、行政費用を調整している場合があります。このため、同種施設比較分析表における行政費用・単位あたりコスト分析と、該当の課別・事業別行政評価シートにおける行政費用・単位あたりコスト分析では、金額が異なる場合があります。

### <例>

忠生市民センターと忠生図書館は複合施設ですが、貸借対照表における建物(事業用資産)は、忠生市民センター費に計上されています。このため、建物の減価償却費は忠生市民センター費の行政コスト計算書にのみ計上され、忠生図書館事業の行政コスト計算書には計上されていません。

「図書館」という同種施設を比較分析するにあたっては、忠生図書館の建物に係る減価償却費を面積按分により算定し、加算しています。

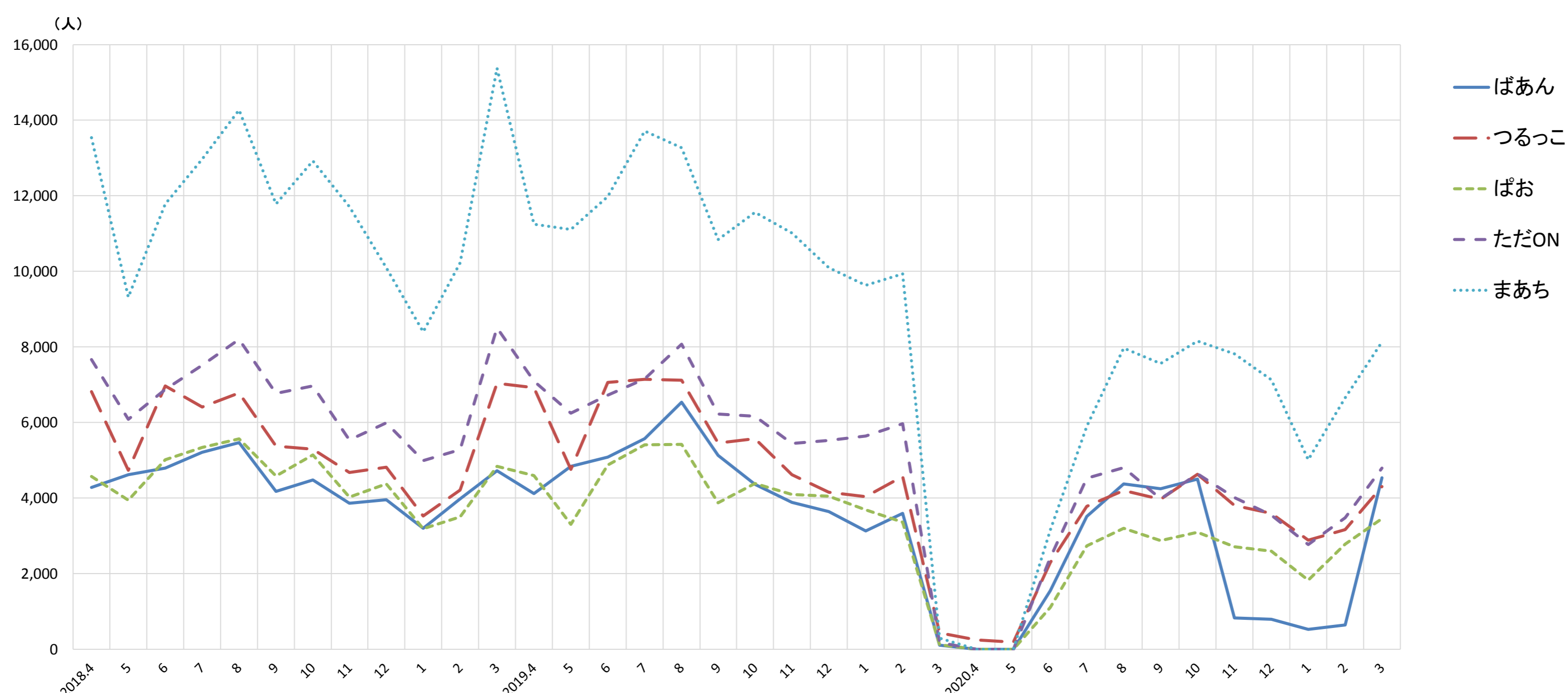


### 3 事業の成果の月次推移

各施設利用人数

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2018年度	ばあん	4,281	4,615	4,794	5,210	5,467	4,174	4,484	3,866	3,953	3,200	3,978	4,731	52,753
	つるっこ	6,824	4,742	6,965	6,410	6,780	5,382	5,292	4,674	4,817	3,530	4,210	7,039	66,665
	ばお	4,576	3,945	5,020	5,344	5,569	4,582	5,143	4,028	4,372	3,187	3,503	4,845	54,114
	ただON	7,662	6,085	6,879	7,511	8,201	6,773	6,968	5,535	5,995	4,989	5,281	8,508	80,387
	まあち	13,540	9,323	11,787	12,969	14,269	11,780	12,928	11,720	10,096	8,405	10,228	15,379	142,424
	計	36,883	28,710	35,445	37,444	40,286	32,691	34,815	29,823	29,233	23,311	27,200	40,502	396,343
2019年度	ばあん	4,116	4,846	5,090	5,570	6,539	5,127	4,369	3,885	3,648	3,133	3,601	105	50,029
	つるっこ	6,922	4,765	7,061	7,145	7,123	5,453	5,572	4,619	4,156	4,039	4,571	431	61,857
	ばお	4,596	3,303	4,877	5,414	5,419	3,878	4,390	4,100	4,046	3,690	3,364	115	47,192
	ただON	7,096	6,254	6,722	7,155	8,076	6,223	6,163	5,444	5,522	5,641	5,969	178	70,443
	まあち	11,250	11,110	11,984	13,719	13,269	10,842	11,560	11,019	10,099	9,632	9,941	289	124,714
	計	33,980	30,278	35,734	39,003	40,426	31,523	32,054	29,067	27,471	26,135	27,446	1,118	354,235
2020年度	ばあん	0	0	1,550	3,512	4,372	4,246	4,501	832	798	528	677	4,534	25,550
	つるっこ	243	189	2,293	3,778	4,202	3,966	4,637	3,809	3,599	2,891	3,171	4,309	37,087
	ばお	0	0	1,103	2,731	3,206	2,872	3,103	2,714	2,595	1,832	2,787	3,456	26,399
	ただON	0	0	2,419	4,525	4,802	3,985	4,646	4,011	3,545	2,769	3,477	4,792	38,971
	まあち	0	0	3,155	5,898	7,965	7,560	8,151	7,815	7,135	5,012	6,656	8,138	67,485
	計	243	189	10,520	20,444	24,547	22,629	25,038	19,181	17,672	13,032	16,768	25,229	195,492
2020年度 対前年度 比率	ばあん	皆減	皆減	30.5%	63.1%	66.9%	82.8%	103.0%	21.4%	21.9%	16.9%	18.8%	4318%	51.1%
	つるっこ	3.5%	4.0%	32.5%	52.9%	59.0%	72.7%	83.2%	82.5%	86.6%	71.6%	69.4%	1000%	60.0%
	ばお	皆減	皆減	22.6%	50.4%	59.2%	74.1%	70.7%	66.2%	64.1%	49.6%	82.8%	3005%	55.9%
	ただON	皆減	皆減	36.0%	63.2%	59.5%	64.0%	75.4%	73.7%	64.2%	49.1%	58.3%	2692%	55.3%
	まあち	皆減	皆減	26.3%	43.0%	60.0%	69.7%	70.5%	70.9%	70.7%	52.0%	67.0%	2816%	54.1%
	計	0.7%	0.6%	29.4%	52.4%	60.7%	71.8%	78.1%	66.0%	64.3%	49.9%	61.1%	2257%	55.2%



### 4 事業の成果の月次推移の分析

①1度目の緊急事態宣言による休館後、2020年6月8日から開館時間の短縮や館内の消毒時間を設けるなど段階的に施設を再開し、6月22日から通常どおり開館しました。2021年1月に2度目の緊急事態宣言が発出された際には、開館時間の短縮を行いながら開館しました。

②2020年6月8日に施設を再開して以降、子どもセンター全体の利用者数は徐々に回復し、2020年10月には対前年度比で78.1%まで回復しました。特に「ばあん」では、利用者数の対前年度比が103%と、前年度を上回りました。これは、2020年8月以降に小学生や中高生の利用が2019年度を上回ったことに加え、11月以降の改修工事に伴う臨時休館前に来館しようとする子どもたちの利用があったことなどによる利用者の増加によるものです。

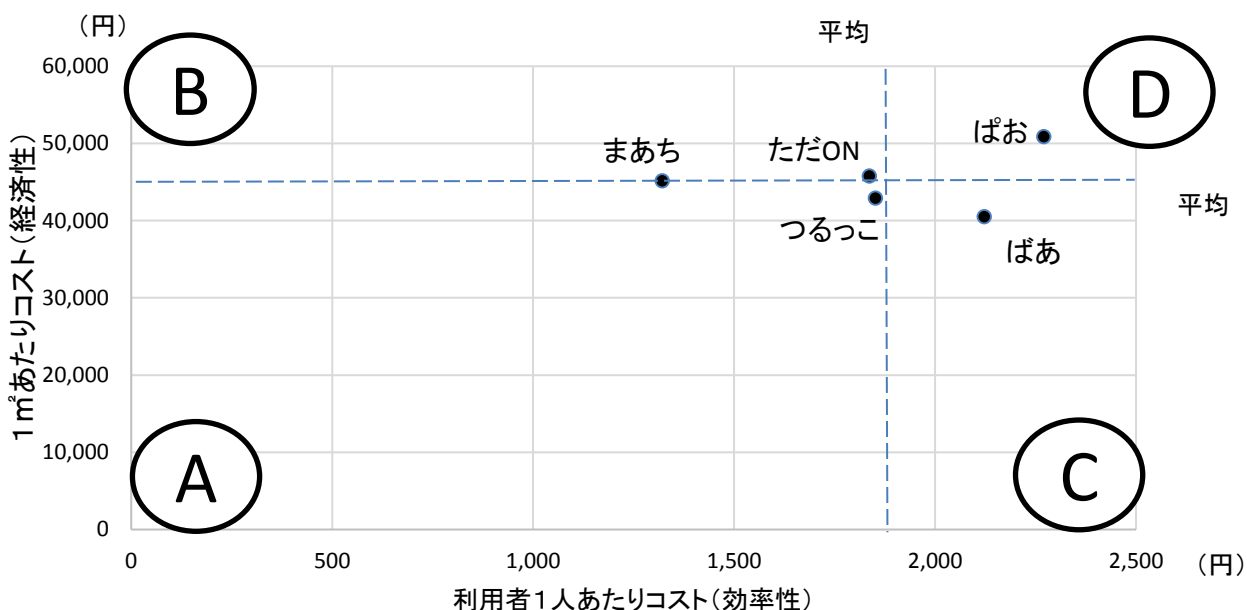
③2度目の緊急事態宣言が発出された2021年1月の子どもセンター全体の利用者数は対前年度比で49.9%でした。これは、「ばあん」の改修工事のほか、緊急事態宣言に伴い、特に乳幼児親子や小学生が外出を控えたことなどにより、利用が減ったためです。一方、「つるっこ」の利用者数の減少は、中高生の利用者数が増加したことなどにより、対前年度比で71.6%に留まりました。

## 5 2019年度決算で掲げた施設マネジメント改善のための取り組み

・新型コロナウイルス感染症に対して、新しい生活様式に対応した子どもの居場所づくりが求められています。そのため、利用者ニーズの反映だけでなく、感染拡大防止が図られる新たな管理運営方法を検討することで、利用者にとって安心安全な居場所を提供します。

・地域の拠点として多くの方にご利用いただくために、地域との連携事業や出張事業の充実を図るとともに、各施設の情報発信に努め、新たな利用者を増やします。

## 6 効率性・経済性を軸にした分析グラフ



## 7 分析欄

### ①人件費の特徴について

・職員については施設規模、利用者数に応じた配置をしています。中心市街地にあり、町田駅からアクセスが良く、利用者数も多いまあちが最も高く、次いでただONが高くなっています。

### ②1㎡あたりのコストの特徴について(1㎡あたりのコスト平均:45,035円)

・Cの特徴:ばあは、改修工事及び新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う休館により、人件費や物件費などの施設運営費が減少したため、1㎡あたりのコストが小さくなっています。

・Dの特徴:ぱおは5センターの中で最も狭い面積であり、設置後12年経過したスライダー(滑り台)などの修繕等を実施したことや施設用地借り上げ料が固定費として唯一ある施設であることなどから、1㎡あたりのコストが大きくなっています。

### ③利用者1人あたりコストの特徴について(利用者1人あたりコスト平均:1,881円)

・Bの特徴:まあちの利用者数は、2番目に多いただONと比較しても1.7倍以上多いことから、施設運営費が最も高くなっていますが、利用者1人あたりコストは小さくなっています。

・Dの特徴:ぱおは、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う休館により運営経費は減少しましたが、利用者数が大きく減少したことから、利用者1人あたりコストが大きくなっています。

## 8 施設マネジメント改善のための今後の取り組み

・多くの方にご利用していただくために、新型コロナウイルス感染症対策を適切に行い、安心安全な居場所の提供・事業の実施を行います。

・地域にある子どもの居場所全体の充実を図るため、子どもクラブとの連携や地域団体の支援を拡充するための取り組みを検討します。

・地域の拠点として、快適にご利用していただけるよう、計画的に修繕等を行っていきます。

# 同種施設比較分析表(図書館)

## 1 各施設の情報

	中央	さるびあ	鶴川※1	金森※1	忠生※2※3	木曾山崎	堺※2	鶴川駅前※2	
基本情報	該当ページ	162	164	166	168	170	172	174	176
	建設年月日	1990年4月16日	1972年5月22日	1972年2月15日	2000年7月4日	2015年2月27日	1976年3月25日	1983年9月25日	2012年8月31日
	有形固定資産減価償却率	58.7%	84.8%	-	-	-	57.1%	-	-
行政費用(千円)	人件費	317,854	99,897	43,666	68,892	64,449	41,504	57,299	78,389
	物件費	118,136	24,636	12,755	31,220	32,891	13,144	13,231	45,070
	うち委託料	53,676	6,804	1,694	7,269	12,450	2,173	3,440	23,499
	うち光熱水費	10,424	3,839	997	3,106	1,184	1,296	673	2,004
	維持補修費	20,109	370	124	4,971	0	247	453	246
	補助費等	54,544	16	164	8	8	6	10	10
	減価償却費	33,895	2,067			24,216	3,177	6,176	19,485
	賞与・退職手当引当金繰入額	16,763	4,635	11,997	5,124	5,147	1,837	3,981	7,250
行政費用合計	561,301	131,621	68,706	110,215	126,711	59,915	81,150	150,450	

単位あたりコスト分析	延床面積(m <sup>2</sup> )	5,968	1,260	260	1,500	1,266	321	430	1,344
	1m <sup>2</sup> あたりコスト(円)	94,052	104,461	264,254	73,477	100,088	186,651	188,721	111,942
	貸出者数(人)	266,363	70,938	44,522	136,734	88,852	54,086	31,907	125,644
	貸出者1人あたりコスト(円)	2,107	1,855	1,543	806	1,426	1,108	2,543	1,197
	開館日数(日)	242	242	242	242	242	242	242	242
	開館1日あたりコスト(円)	2,319,426	543,888	283,909	455,434	523,599	247,583	335,331	621,694
	貸出点数(点)	750,076	266,215	139,898	486,043	376,325	169,457	144,994	381,263
	貸出1点あたりコスト(円)	748	494	491	227	337	354	560	395

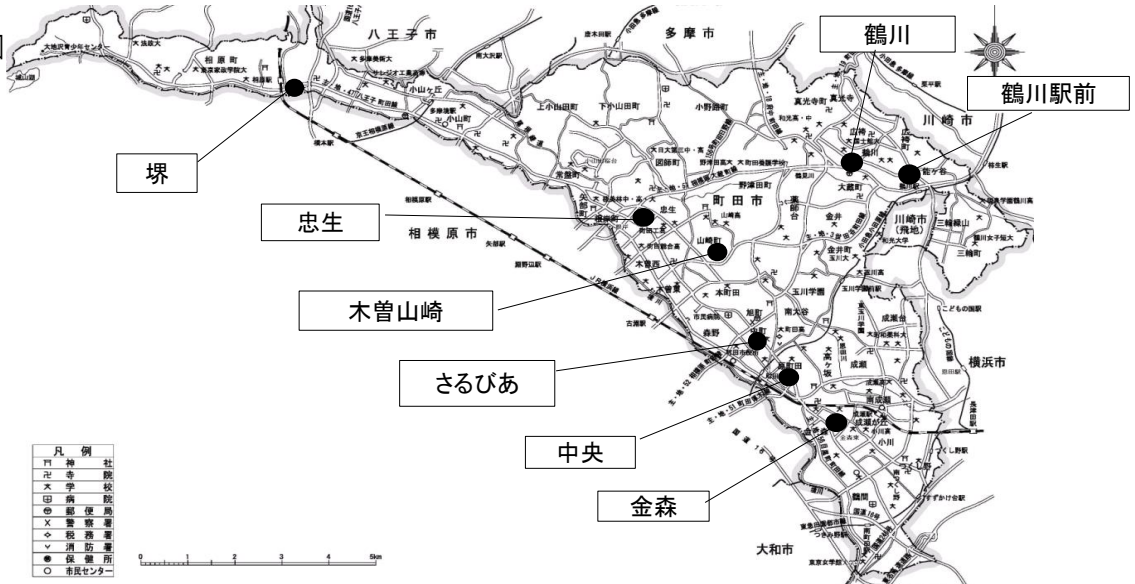
※1 URから有償で借りて運営している鶴川、東京都から無償で借りている金森については、減価償却費を計上していません。

※2 複合施設については減価償却費を面積按分して算出しています。有形固定資産減価償却率を空欄にしています。

	忠生	堺	鶴川駅前
減価償却費(千円)	53,808	41,125	86,684
複合施設全体面積(m <sup>2</sup> )	4,687	2,863	5,979
図書館面積(m <sup>2</sup> )	1,266	430	1,344
按分減価償却費(千円)	14,534	6,176	19,485

※3 忠生図書館の減価償却費は、建物減価償却費14,534千円及び重要物品減価償却費9,682千円を合算して24,216千円としています。

## 2 施設配置図

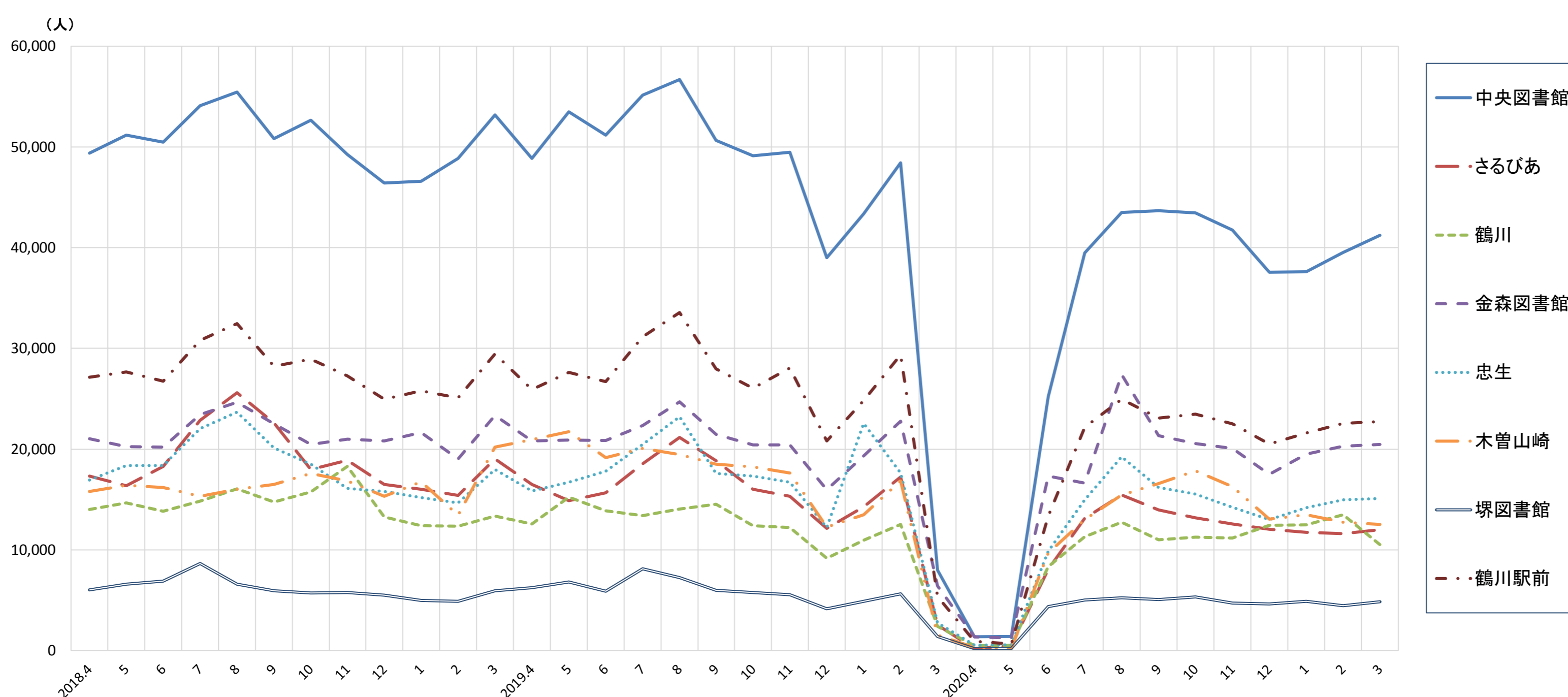


### 3 事業の成果の月次推移

各施設利用人数

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2018年度	中央図書館	49,389	51,169	50,490	54,077	55,445	50,807	52,649	49,244	46,409	46,593	48,849	53,154	608,275
	さるびあ	17,327	16,355	18,300	22,866	25,601	22,598	17,988	18,886	16,518	16,028	15,409	19,046	226,922
	鶴川	13,995	14,667	13,845	14,840	16,061	14,735	15,746	18,289	13,269	12,393	12,335	13,370	173,545
	金森図書館	21,020	20,257	20,199	23,420	24,665	22,516	20,462	20,986	20,828	21,655	19,017	23,326	258,351
	忠生	16,917	18,367	18,364	22,042	23,677	20,136	18,521	16,088	15,799	15,188	14,659	17,999	217,757
	木曾山崎	15,812	16,394	16,195	15,302	16,021	16,482	17,608	16,847	15,323	16,759	13,437	20,191	196,371
	堺図書館	6,049	6,598	6,917	8,651	6,599	5,963	5,713	5,762	5,513	4,974	4,886	5,964	73,589
	鶴川駅前	27,133	27,672	26,762	30,823	32,455	28,237	28,909	27,282	24,951	25,773	25,076	29,449	334,522
	計	167,642	171,479	171,072	192,021	200,524	181,474	177,596	173,384	158,610	159,363	153,668	182,499	2,089,332
2019年度	中央図書館	48,840	53,486	51,151	55,138	56,686	50,631	49,128	49,475	38,994	43,346	48,403	8,012	553,290
	さるびあ	16,518	14,864	15,652	18,542	21,151	18,863	16,025	15,336	12,145	14,254	17,234	2,560	183,144
	鶴川	12,560	15,248	13,897	13,392	14,052	14,525	12,415	12,241	9,156	10,953	12,528	2,406	143,373
	金森図書館	20,823	20,888	20,867	22,326	24,718	21,488	20,417	20,434	15,959	19,323	22,797	6,406	236,446
	忠生	15,843	16,715	17,823	20,475	23,197	17,604	17,333	16,715	12,206	22,545	17,647	2,748	200,851
	木曾山崎	20,936	21,733	19,161	20,073	19,467	18,520	18,234	17,618	12,255	13,475	16,856	1,542	199,870
	堺図書館	6,272	6,814	5,905	8,147	7,240	5,977	5,755	5,538	4,166	4,911	5,643	1,423	67,791
	鶴川駅前	25,924	27,616	26,722	31,143	33,559	27,964	26,051	28,074	20,826	24,849	29,343	5,388	307,459
	計	167,716	177,364	171,178	189,236	200,070	175,572	165,358	165,431	125,707	153,656	170,451	30,485	1,892,224
2020年度	中央図書館	1,382	1,392	25,241	39,487	43,499	43,672	43,434	41,738	37,554	37,608	39,537	41,225	395,769
	さるびあ	206	481	8,084	13,158	15,431	13,957	13,203	12,592	12,069	11,740	11,605	11,996	124,522
	鶴川	498	538	8,342	11,288	12,753	11,010	11,267	11,178	12,434	12,485	13,476	10,532	115,801
	金森図書館	1,371	1,258	17,348	16,617	27,406	21,349	20,546	20,088	17,507	19,493	20,287	20,454	203,724
	忠生	551	574	9,852	14,992	19,256	16,174	15,534	14,215	12,996	14,187	14,968	15,103	148,402
	木曾山崎	340	203	9,712	13,015	15,468	16,594	17,861	16,272	13,059	13,489	12,729	12,517	141,259
	堺図書館	201	221	4,375	5,040	5,239	5,063	5,341	4,727	4,654	4,883	4,446	4,838	49,028
	鶴川駅前	925	666	13,370	22,185	24,952	23,104	23,461	22,516	20,518	21,608	22,577	22,728	218,610
	計	5,474	5,333	96,324	135,782	164,004	150,923	150,647	143,326	130,791	135,493	139,625	139,393	1,397,115
2020年度 対前年度 比率	中央図書館	2.8%	2.6%	49.3%	71.6%	76.7%	86.3%	88.4%	84.4%	96.3%	86.8%	81.7%	514.5%	71.5%
	さるびあ	1.2%	3.2%	51.6%	71.0%	73.0%	74.0%	82.4%	82.1%	99.4%	82.4%	67.3%	468.6%	68.0%
	鶴川	4.0%	3.5%	60.0%	84.3%	90.8%	75.8%	90.8%	91.3%	135.8%	114.0%	107.6%	437.7%	80.8%
	金森図書館	6.6%	6.0%	83.1%	74.4%	110.9%	99.4%	100.6%	98.3%	109.7%	100.9%	89.0%	319.3%	86.2%
	忠生	3.5%	3.4%	55.3%	73.2%	83.0%	91.9%	89.6%	85.0%	106.5%	62.9%	84.8%	549.6%	73.9%
	木曾山崎	1.6%	0.9%	50.7%	64.8%	79.5%	89.6%	98.0%	92.4%	106.6%	100.1%	75.5%	811.7%	70.7%
	堺図書館	3.2%	3.2%	74.1%	61.9%	72.4%	84.7%	92.8%	85.4%	111.7%	99.4%	78.8%	340.0%	72.3%
	鶴川駅前	3.6%	2.4%	50.0%	71.2%	74.4%	82.6%	90.1%	80.2%	98.5%	87.0%	76.9%	421.8%	71.1%
	計	3.3%	3.0%	56.3%	71.8%	82.0%	86.0%	91.1%	86.6%	104.0%	88.2%	81.9%	457.3%	73.8%



### 4 事業の成果の月次推移の分析

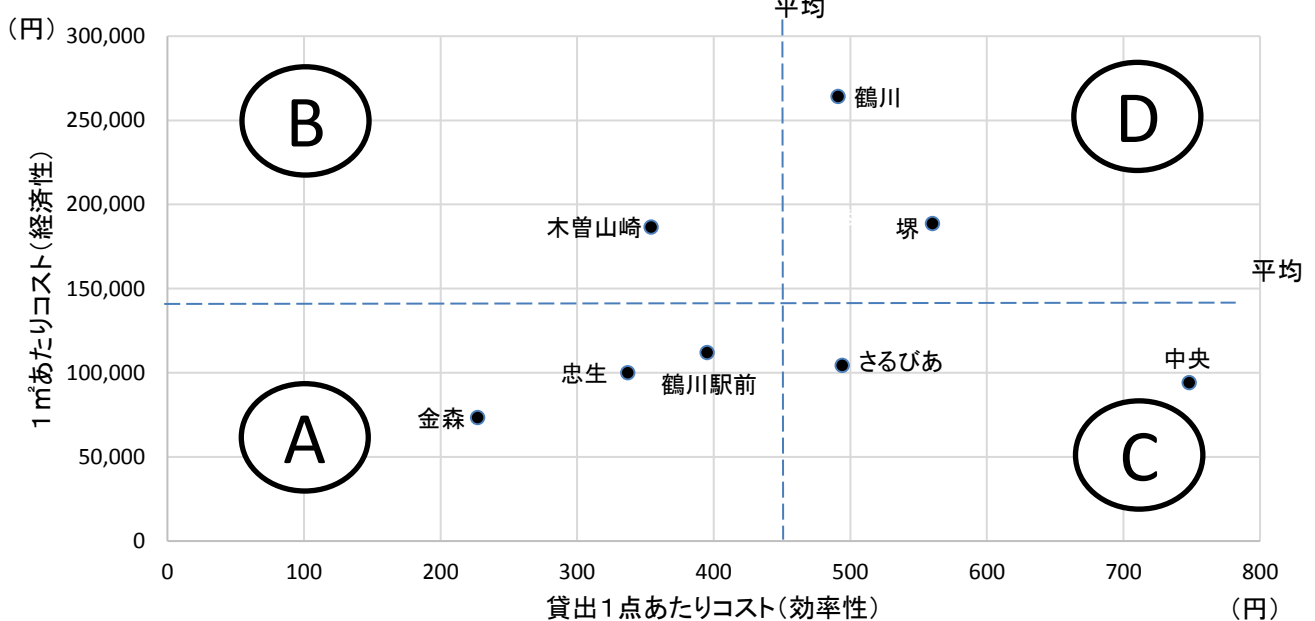
- ①2019年12月の落ち込みは、システム更改に伴い開館日数が減少したためです。
- ②2020年3月～5月は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館など開館制限の影響により来館者数は大きく落ち込みましたが、2020年6月開館以降は徐々に回復傾向にあります。
- ③東京都の年末年始コロナ特別警報が発出された2020年12月と2度目の緊急事態宣言が発令された2021年1月は若干落ち込みましたが、2月以降は回復傾向にあります。



## 5 2019年度決算で掲げた施設マネジメント改善のための取り組み

民間活力の導入や移動図書館の運行見直しなど「効果的・効率的な図書館サービスアクションプラン」に掲げた、図書館サービス、図書館資源の再配分、運営体制の確立にかかる34の取り組みを推進します。

## 6 効率性・経済性を軸にした分析グラフ



## 7 分析欄

### ①人件費の特徴について

中央図書館、中規模館(さるびあ・金森・忠生・鶴川駅前)、小規模館(鶴川・木曾山崎・堺)の3グループで、それぞれ人員配置が異なるため、規模に応じた人件費を支出しています。中央図書館は他の図書館のバックアップに加え、レファレンス(参考調査)、視覚障がいのある方への対面朗読や録音図書資料、来館困難者への宅配サービス、視聴覚資料等の独自サービスを行い、人員を最も多く配置しているため、人件費が高くなっています。さるびあ図書館と堺図書館は移動図書館を運営しており、他の同規模館より人員を多く配置しているため、人件費が高くなっています。

### ②施設規模の特徴について

施設運営に最低限必要な人員を配置しているため、小規模館は、1㎡あたりコストが中央図書館や中規模館よりも相対的に高くなっています(B、D区分)。

### ③貸出点数の特徴について

中央図書館に次ぐ貸出点数がある金森図書館が、貸出1点あたりコストが最も低くなっています。また、移動図書館を運営している、さるびあ図書館と堺図書館は、他の同規模館より貸出1点あたりコストが高くなっています。

## 8 施設マネジメント改善のための今後の取り組み

2019年度に引き続き、民間活力の導入や移動図書館の運行見直しなど「効果的・効率的な図書館サービスアクションプラン」に掲げた、図書館サービス、図書館資源の再配分、運営体制の確立にかかる34の取り組みを推進します。

# 同種施設比較分析表(市民センター)

## 1 各施設の情報

		忠生 <sup>※1※2</sup>	鶴川 <sup>※1</sup>	南	なるせ駅前	堺 <sup>※1</sup>	小山
基本情報	該当ページ	360	362	366	370	372	374
	建設年月日	2015年2月27日	1985年10月15日	1987年2月2日	1996年3月19日	1983年3月1日	1995年1月25日
	有形固定資産減価償却率	23.4%	47.9%	65.5%	48.3%	60.3%	50.3%
行政費用(千円)	人件費	84,340	113,226	73,689	87,677	58,792	65,344
	物件費	34,320	19,495	20,772	18,524	18,486	23,440
	うち委託料	28,514	14,807	14,405	13,294	14,147	15,347
	うち光熱水費	3,452	2,651	4,028	4,042	3,250	6,700
	維持補修費	788	814	4,078	2,221	2,189	4,251
	補助費等	0	0	0	0	0	0
	減価償却費	35,084	28,362	15,358	18,952	29,792	34,567
	賞与・退職手当引当金繰入額	11,333	7,079	4,691	9,300	4,682	3,648
	行政費用合計	165,865	168,976	118,588	136,674	113,941	131,250
単位あたりコスト分析	延床面積(m <sup>2</sup> )	3,056	2,087	2,117	2,077	2,074	2,705
	1m <sup>2</sup> あたりコスト(円)	54,275	80,966	56,017	65,804	54,938	48,521
	取扱総件数(件) <sup>※3</sup>	49,292	94,142	56,755	71,900	34,520	52,530
	取扱件数1件あたりコスト(円)	2,083	1,258	1,320	1,358	1,976	1,214
	利用総人数(人) <sup>※4</sup>	44,244	40,297	27,164	27,543	24,585	43,182
	利用者1人あたりコスト(円)	1,428	1,255	1,607	1,417	1,860	1,563
	開館日数(日)	338	337	337	337	337	338
	開館1日あたりコスト(円)	490,725	501,412	351,893	405,561	338,104	388,314

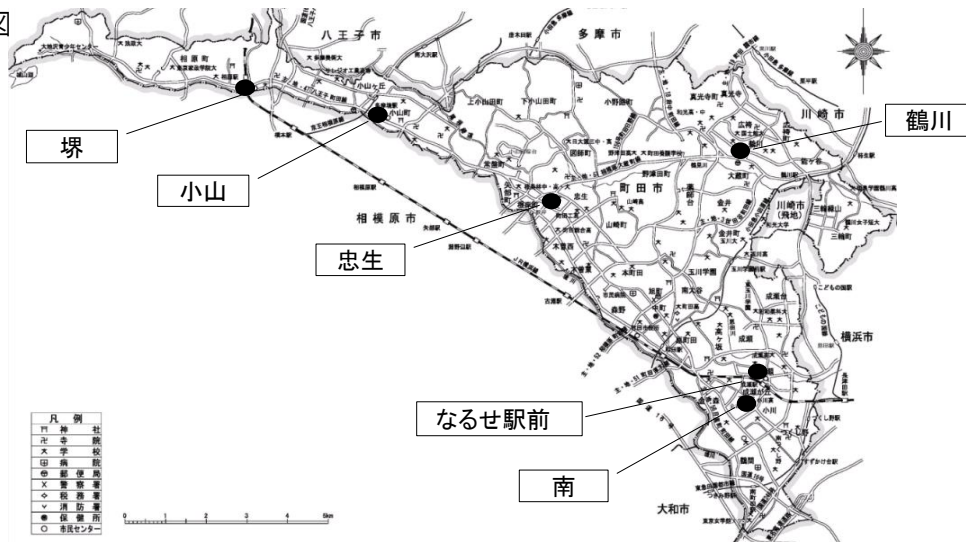
※1 複合施設については減価償却費を面積按分して算出しています。

	忠生	鶴川	堺
建物減価償却費(千円)	53,808	35,469	41,125
複合施設全体面積(m <sup>2</sup> )	4,687	2,610	2,863
市民センター面積(m <sup>2</sup> )	3,056	2,087	2,074
按分減価償却費(千円)	35,084	28,362	29,792

※2 証明書交付、各種申請受付等の行政窓口総取扱件数

※3 証明書交付、各種申請受付等の行政窓口総取扱件数

## 2 施設配置図

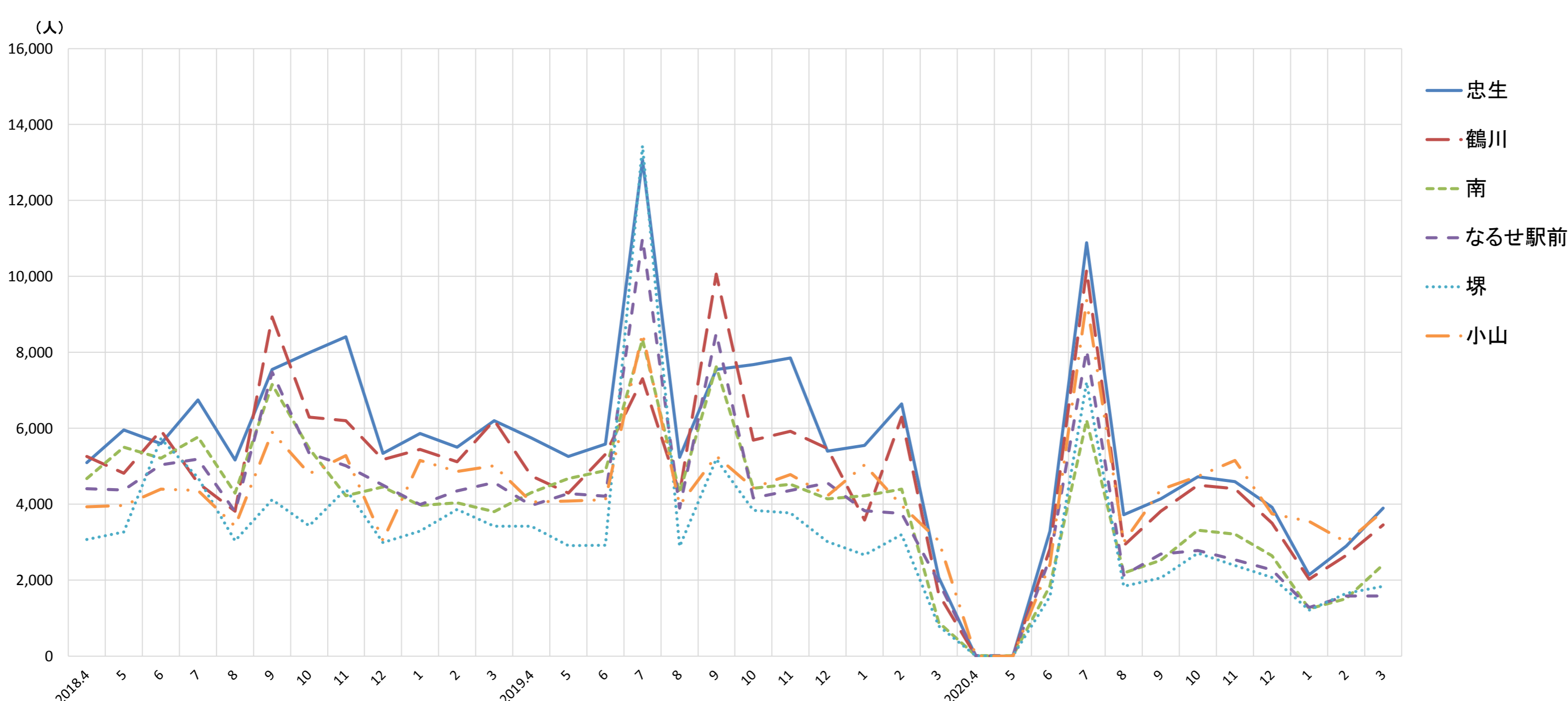


### 3 事業の成果の月次推移

各施設利用人数

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2018年度	忠生	5,096	5,959	5,593	6,746	5,167	7,553	7,995	8,414	5,345	5,861	5,508	6,200	75,437
	鶴川	5,257	4,813	5,952	4,564	3,815	8,937	6,298	6,207	5,176	5,443	5,120	6,218	67,800
	南	4,675	5,505	5,218	5,768	4,298	7,151	5,464	4,220	4,457	3,965	4,036	3,803	58,560
	なるせ駅前	4,407	4,373	5,036	5,192	3,807	7,476	5,338	5,021	4,509	3,994	4,348	4,579	58,080
	塚	3,070	3,274	5,729	4,706	3,039	4,126	3,439	4,399	2,996	3,293	3,865	3,422	45,358
	小山	3,935	3,965	4,394	4,365	3,423	5,902	4,808	5,288	3,049	5,160	4,862	5,014	54,165
	計	26,440	27,889	31,922	31,341	23,549	41,145	33,342	33,549	25,532	27,716	27,739	29,236	359,400
2019年度	忠生	5,750	5,261	5,589	13,070	5,241	7,548	7,680	7,858	5,404	5,556	6,649	2,072	77,678
	鶴川	4,745	4,292	5,316	7,303	4,291	10,060	5,694	5,925	5,469	3,587	6,299	1,627	64,608
	南	4,302	4,675	4,891	8,341	4,309	7,622	4,424	4,531	4,147	4,221	4,401	890	56,754
	なるせ駅前	3,972	4,278	4,216	11,000	3,902	8,502	4,163	4,366	4,557	3,830	3,755	1,941	58,482
	塚	3,423	2,913	2,920	13,441	2,884	5,195	3,842	3,768	3,017	2,666	3,201	791	48,061
	小山	4,066	4,088	4,120	8,501	3,984	5,277	4,431	4,778	4,230	5,037	3,968	3,040	55,520
	計	26,258	25,507	27,052	61,656	24,611	44,204	30,234	31,226	26,824	24,897	28,273	10,361	361,103
2020年度	忠生	0	0	3,293	10,893	3,726	4,144	4,731	4,598	3,926	2,141	2,898	3,894	44,244
	鶴川	0	0	2,833	10,173	2,915	3,813	4,506	4,416	3,500	2,031	2,655	3,455	40,297
	南	17	12	1,855	6,218	2,186	2,522	3,324	3,214	2,647	1,249	1,514	2,406	27,164
	なるせ駅前	14	12	2,583	8,064	2,137	2,691	2,789	2,540	2,268	1,279	1,582	1,584	27,543
	塚	8	8	1,574	7,213	1,837	2,064	2,712	2,389	2,073	1,211	1,652	1,844	24,585
	小山	0	0	2,421	9,367	3,007	4,391	4,733	5,151	3,745	3,554	3,000	3,813	43,182
	計	39	32	14,559	51,928	15,808	19,625	22,795	22,308	18,159	11,465	13,301	16,996	207,015
2020年度 対前年度 比率	忠生	皆減	皆減	58.9%	83.3%	71.1%	54.9%	61.6%	58.5%	72.6%	38.5%	43.6%	187.9%	57.0%
	鶴川	皆減	皆減	53.3%	139.3%	67.9%	37.9%	79.1%	74.5%	64.0%	56.6%	42.1%	212.4%	62.4%
	南	0.4%	0.3%	37.9%	74.5%	50.7%	33.1%	75.1%	70.9%	63.8%	29.6%	34.4%	270.3%	47.9%
	なるせ駅前	0.4%	0.3%	61.3%	73.3%	54.8%	31.7%	67.0%	58.2%	49.8%	33.4%	42.1%	81.6%	47.1%
	塚	0.2%	0.3%	53.9%	53.7%	63.7%	39.7%	70.6%	63.4%	68.7%	45.4%	51.6%	233.1%	51.2%
	小山	皆減	皆減	58.8%	110.2%	75.5%	83.2%	106.8%	107.8%	88.5%	70.6%	75.6%	125.4%	77.8%
	計	0.1%	0.1%	53.8%	84.2%	64.2%	44.4%	75.4%	71.4%	67.7%	46.0%	47.0%	164.0%	57.3%



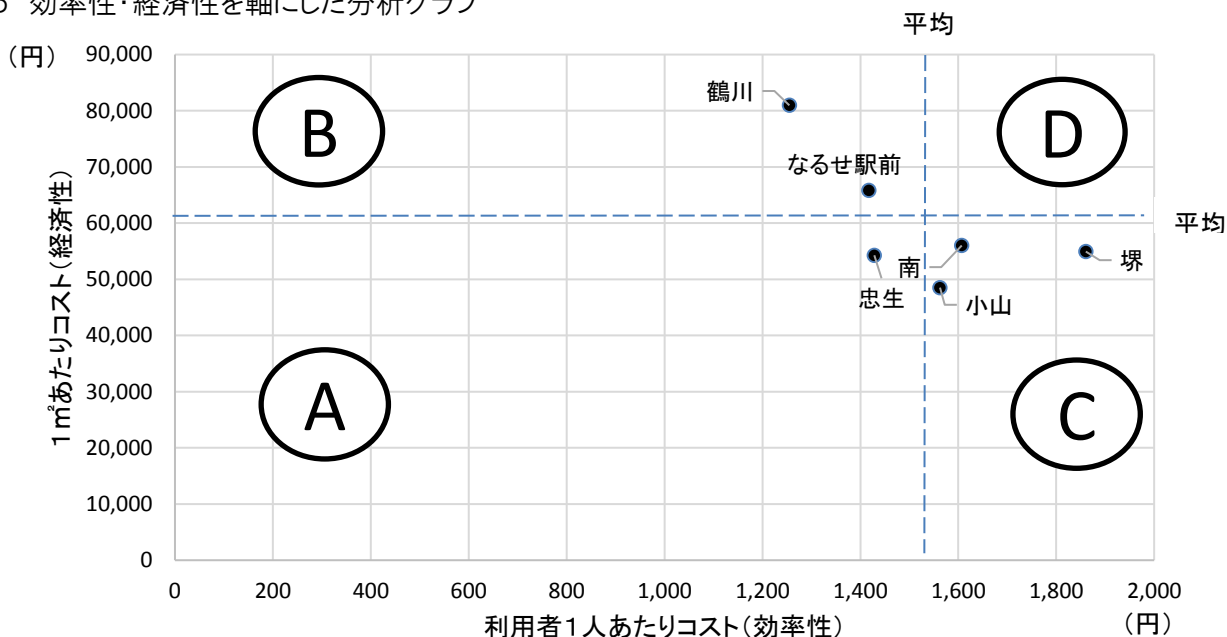
### 4 事業の成果の月次推移の分析

- ①2020年3月は利用人数が減少しています。これは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、3月以降新規受付停止等の対応を行ったためです。
- ②2020年4月5月は利用人数がほぼ皆減となっております。これは、1度目の緊急事態宣言発出により、施設利用を中止したためです。
- ③2020年6月以降は新しい生活様式を踏まえた利用時の留意事項を周知したことにより、徐々に利用者数が増加しました。
- ④2020年7月は利用人数の減少が見られず、例年と同程度ですが、都知事選の期日前投票、当日投票の会場となったためです。
- ⑤2021年1月以降の利用人数が減少しています。これは2度目の緊急事態宣言発出により、施設の夜間貸出を休止したためです。

## 5 2019年度決算で掲げた施設マネジメント改善のための取り組み

- ・老朽化している施設があります。建物をより長く安全に利用できるよう、計画的な維持・補修に努めます。
- ・マイナンバーカードの普及に伴い、証明書交付件数は減少傾向にあります。窓口業務に配置する職員数の適正化や業務の効率化を図り、市民の利便性を維持しつつ行政費用を押さえていくよう取り組みます。
- ・施設利用率向上のため、夜間利用が見込める若年層に向けて近隣の大学へPRを行うなど、積極的な周知活動を行い、新規の利用者を掘り起こすよう努めます。
- ・市民ニーズや環境変化を踏まえ、行政窓口および集会施設のあり方を検討し、(仮称)市民センター等の未来ビジョンを策定します。

## 6 効率性・経済性を軸にした分析グラフ



## 7 分析欄

### ①人件費の特徴について

全体の特徴: 市民センターの行政費用のうち、人件費が最も多くを占めています。行政窓口の業務量に応じて、職員を配置しています。

Bの特徴: 鶴川は行政窓口取扱総件数が多く、職員の配置人数が最も多いため、1㎡あたりコストが高くなっています。

### ②施設の特徴について

全体の特徴: 建替えや改修により省エネルギー機器を導入した忠生、鶴川、堺は他施設と比べ1㎡あたりの光熱水費の割合が低くなっています。

Cの特徴: 堺は施設の老朽化により維持補修費や減価償却費が高く、利用者1人あたりのコストが最も高くなっています。

### ③行政窓口取扱総件数、施設利用総人数の特徴について

全体の特徴: マイナンバーカードの普及やコンビニ交付の増加に伴い、取扱総件数のうち証明書交付件数が減少しています。施設利用率は、夜間の利用率が午前・午後の利用率に比べて低くなっています。新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う施設貸出中止等に伴い、施設利用総人数が減少し、利用者1人あたりコストが増加しています。

## 8 施設マネジメント改善のための今後の取り組み

- ・建物をより長く安全に利用できるよう、計画的な維持・補修に努めます。
- ・マイナンバー制度による情報連携やコンビニ交付の増加により、証明書交付件数は減少していますが、マイナンバーカード関連手続きは今後も増加していくことが予想されます。業務の効率化を図り、マイナンバーカードセンターの設置も含めて市民の利便性を維持しつつ行政費用を押さえていくよう取り組みます。
- ・手続の窓口から相談窓口への転換を図るため、検討や体制整備を行います。
- ・新たな管理運営手法の導入を検討します。
- ・施設を安心して利用していただけるよう、今後も新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を徹底します。

# 同種施設比較分析表(コミュニティセンター)

## 1 各施設の情報

	成瀬	木曾森野※1	三輪※2※3	つくし野	
基本情報	該当ページ	338	340	342	344
	建設年月日	1987年12月16日 2016年5月20日	-	2002年3月28日	1982年8月1日
	有形固定資産減価償却率	33.2%	-	39.3%	51.4%
行政費用(千円)	人件費	8,078	4,300	4,942	4,218
	物件費	21,732	13,583	17,004	13,512
	うち委託料	16,326	10,297	11,419	10,385
	うち光熱水費	4,575	2,653	4,818	2,383
	維持補修費	67	1,487	1,104	396
	補助費等	0	0	0	0
	減価償却費	59,125		4,948	9,687
	賞与・退職手当引当金繰入額	46	135	46	130
	行政費用合計	89,048	19,505	28,044	27,943
単位あたりコスト分析	延床面積(m <sup>2</sup> )	1,850	1,000	1,190	1,003
	1㎡あたりコスト(円)	48,134	19,505	23,566	27,859
	利用総人数(人)	34,100	20,010	16,530	18,812
	利用者1人あたりコスト(円)	2,611	975	1,697	1,485
	開館日数(日)	347	347	347	347
	開館1日あたりコスト(円)	256,622	56,210	80,818	80,527

※1 東京都から無償で借りて運営している木曾森野については、減価償却費を計上していません。

※2 複合施設については減価償却費を面積按分して算出しています。

	三輪
建物・工作物減価償却費(千円)	6,191
複合施設全体面積(m <sup>2</sup> )	1,488
コミュニティセンター面積(m <sup>2</sup> )	1,190
按分減価償却費(千円)	4,948

※3 複合施設である三輪の物件費(光熱水費)については実績値に基づく調整をしているため、事業別行政評価シートとは金額が異なります。

## 2 施設配置図

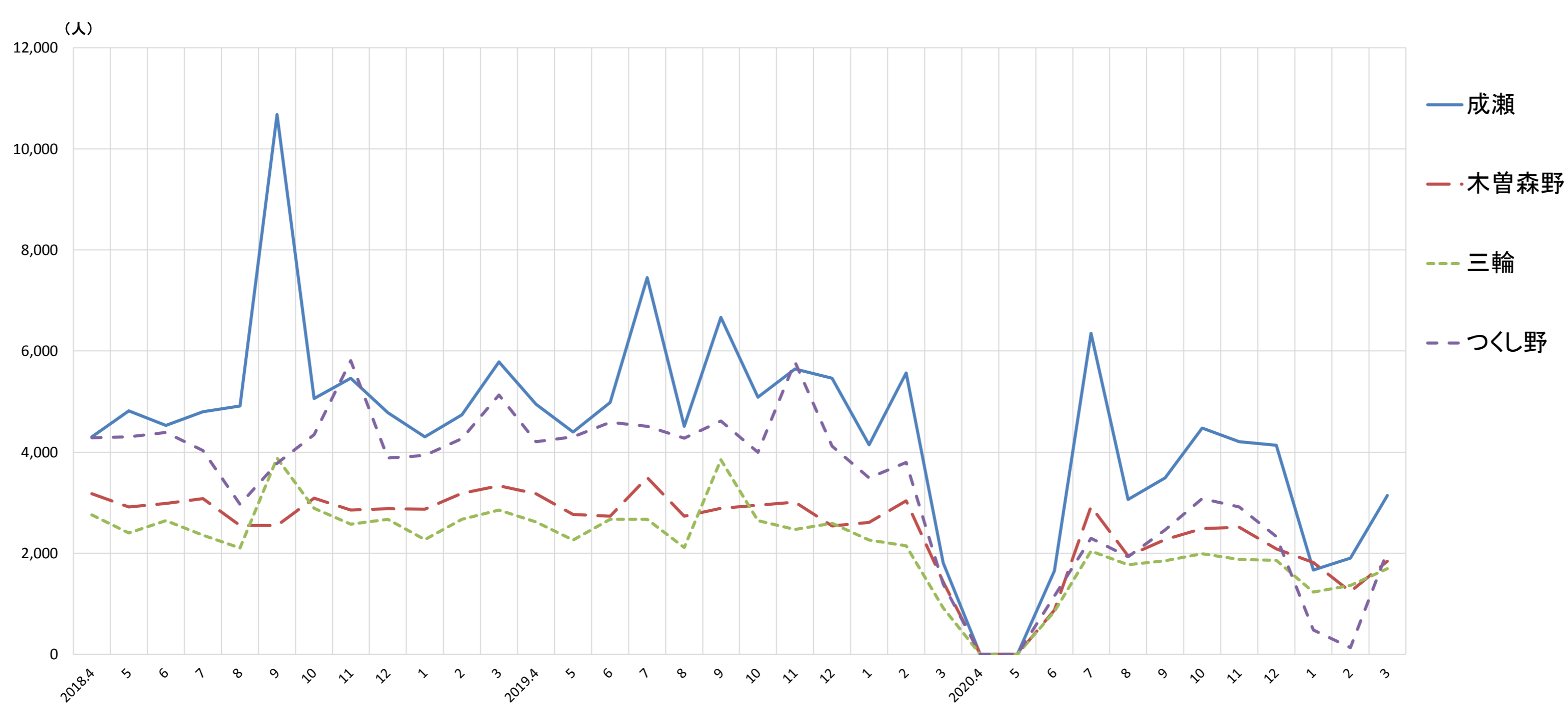


### 3 事業の成果の月次推移

各施設利用人数

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2018年度	成瀬	4,304	4,817	4,530	4,799	4,916	10,679	5,065	5,466	4,786	4,306	4,741	5,786	64,195
	木曾森野	3,181	2,919	2,987	3,080	2,551	2,552	3,090	2,855	2,884	2,876	3,185	3,333	35,493
	三輪	2,760	2,403	2,643	2,355	2,105	3,883	2,890	2,574	2,669	2,271	2,672	2,854	32,079
	つくし野	4,282	4,305	4,394	4,033	2,965	3,776	4,344	5,811	3,883	3,934	4,264	5,131	51,122
	計	14,527	14,444	14,554	14,267	12,537	20,890	15,389	16,706	14,222	13,387	14,862	17,104	182,889
2019年度	成瀬	4,952	4,395	4,987	7,449	4,511	6,670	5,089	5,642	5,467	4,142	5,565	1,806	60,675
	木曾森野	3,182	2,767	2,736	3,498	2,736	2,893	2,954	3,008	2,537	2,609	3,040	1,432	33,392
	三輪	2,620	2,259	2,671	2,672	2,114	3,851	2,645	2,470	2,596	2,263	2,150	916	29,227
	つくし野	4,211	4,299	4,595	4,510	4,279	4,619	4,000	5,789	4,121	3,496	3,796	1,391	49,106
	計	14,965	13,720	14,989	18,129	13,640	18,033	14,688	16,909	14,721	12,510	14,551	5,545	172,400
2020年度	成瀬	0	0	1,647	6,350	3,062	3,496	4,481	4,211	4,140	1,672	1,900	3,141	34,100
	木曾森野	0	0	873	2,926	1,948	2,271	2,488	2,519	2,084	1,817	1,243	1,841	20,010
	三輪	0	0	846	2,041	1,775	1,853	1,989	1,876	1,863	1,234	1,360	1,693	16,530
	つくし野	0	0	1,150	2,297	1,927	2,462	3,079	2,915	2,330	486	135	2,031	18,812
	計	0	0	4,516	13,614	8,712	10,082	12,037	11,521	10,417	5,209	4,638	8,706	89,452
2020年度 対前年度 比率	成瀬	皆減	皆減	33.0%	85.2%	67.9%	52.4%	88.1%	74.6%	75.7%	40.4%	34.1%	173.9%	56.2%
	木曾森野	皆減	皆減	31.9%	83.6%	71.2%	78.5%	84.2%	83.7%	82.1%	69.6%	40.9%	128.6%	59.9%
	三輪	皆減	皆減	31.7%	76.4%	84.0%	48.1%	75.2%	76.0%	71.8%	54.5%	63.3%	184.8%	56.6%
	つくし野	皆減	皆減	25.0%	50.9%	45.0%	53.3%	77.0%	50.4%	56.5%	13.9%	3.6%	146.0%	38.3%
	計	0.0%	0.0%	30.1%	75.1%	63.9%	55.9%	82.0%	68.1%	70.8%	41.6%	31.9%	157.0%	51.9%



### 4 事業の成果の月次推移の分析

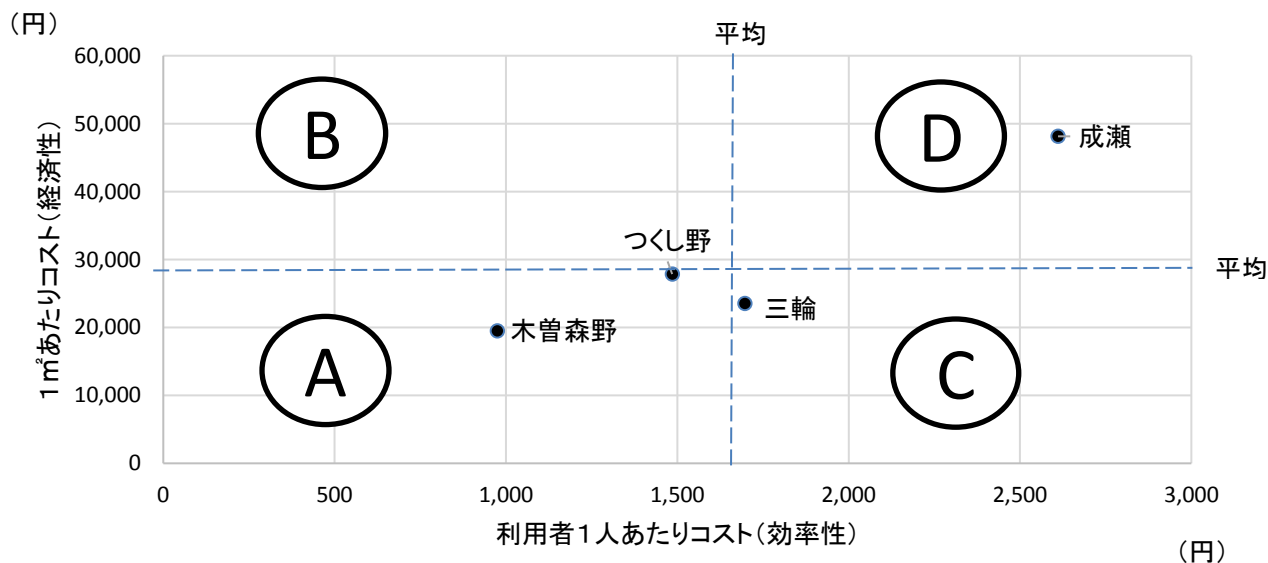
・1度目の緊急事態宣言が解除された後、成瀬、木曾森野、三輪の3センターで利用者が70%以上回復しました。これは、マスクの着用、施設利用時の消毒、十分な換気などの必要な対策を講じて、安全に施設貸出を行った結果だと考えられます。

・1度目の緊急事態宣言が解除された後、つくし野コミュニティセンターが他の3センターと比べ利用者が回復しなかったのは、利用率が高い音楽室が地下にあり、合唱やコーラスといった飛沫が懸念される活動を自粛する団体が多かったからだと考えられます。

## 5 2019年度決算で掲げた施設マネジメント改善のための取り組み

- ・新型コロナウイルス感染症の状況に応じ、マスクの着用、利用人数の制限、施設利用時の消毒などを行い、予防措置を講じながら施設の貸出を行います。
- ・施設貸出の時間帯区分として、午前、午後、夜間としていますが、すべての施設において、夜間帯の利用率が低い状況です(利用総人数の多い成瀬にあっても、時間帯区分別の利用率は、午前66.7%、午後69.5%、夜間44.8%となっており、日中と夜間では、20ポイント以上の差があります)。施設利用率向上のため、夜間利用が見込める若年層に向けて近隣の大学へPRを行うなど、積極的な周知活動を行い、新規の利用につながるよう努めます。
- ・施設の適切な維持管理のために、計画的に修繕を実施します。

## 6 効率性・経済性を軸にした分析グラフ



## 7 分析欄

### ①物件費の特徴について

Dの特徴:成瀬は、小学校跡地を活用して建設し、敷地面積5,805㎡、延床面積1,850㎡と他施設よりも広く、部屋数も多くなっています。そのため、施設を維持管理するために必要となる光熱水費、警備や清掃に係る委託料等が、他施設と比べて高くなっています。

### ②施設規模の特徴について

Aの特徴:木曾森野は、東京都が建物を所有しているため減価償却費はありません。そのため、1㎡あたりコスト、利用者1人あたりコスト、開館1日あたりコストが最も低くなっています。

Dの特徴:成瀬は、物件費及び減価償却費が高いため、1㎡あたりコスト、利用者1人あたりコスト、開館1日あたりコストが最も高くなっています。

### ③利用者数の特徴について

Cの特徴:三輪は、最寄り駅からバス利用が必要で、駐車台数も少ないため、近隣にお住まいの方以外の利用が少ない状況です。

Dの特徴:成瀬は、リニューアルオープン後5年が経過していますが、施設が新しく、部屋数や駐車台数が多いため、近隣にお住まいの方以外の利用も多い状況です。

## 8 施設マネジメント改善のための今後の取り組み

- ・施設貸出の時間帯区分として、午前、午後、夜間としていますが、すべての施設において、夜間帯の利用率が低い状況です。そのため、夜間利用が見込める若年層に向けて積極的な周知活動を行い、新規の利用につながるよう努めます。
- ・施設の適切な維持管理のために、計画的に修繕を実施します。
- ・施設を安心して利用していただけるよう、今後も新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を徹底します。

# 同種施設比較分析表(連絡所)

## 1 各施設の情報

	町田駅前 <sup>※1</sup>	木曽山崎 <sup>※2</sup>	玉川学園駅前 <sup>※1</sup>	鶴川駅前 <sup>※2</sup>	南町田駅前 <sup>※1</sup>	
基本情報	該当ページ	354	356	358	364	368
	建設年月日	1998年4月7日	1982年8月17日	2019年2月12日	2012年9月29日	2017年3月1日
	有形固定資産減価償却率	-	65.9%	-	-	-
行政費用(千円)	人件費	48,529	31,876	26,095	38,286	29,646
	物件費	17,671	19,060	27,241	1,332	12,935
	うち委託料	27	14,868	1,791	974	1,487
	うち光熱水費	528	2,670	439	151	1,131
	維持補修費	0	3,918	0	0	0
	補助費等	0	0	0	0	0
	減価償却費	/	11,944	/	971	/
	賞与・退職手当引当金繰入額	5,184	1,838	4,120	4,417	3,014
	行政費用合計	71,384	68,636	57,456	45,006	45,595
単位あたりコスト分析	延床面積(m <sup>2</sup> )	109	1,611	136	67	121
	1m <sup>2</sup> あたりコスト(円)	654,899	42,605	422,471	671,737	376,818
	取扱総件数(件) <sup>※3</sup>	63,973	18,851	11,161	30,521	36,969
	取扱件数1件あたりコスト(円)	1,116	1,767	5,148	1,475	1,233
	利用総人数(人) <sup>※4</sup>	-	30,861	-	-	-
	利用者1人あたりコスト(円)	-	1,144	-	-	-
	開館日数(日)	339	331	243	317	339
	開館1日あたりコスト(円)	210,572	207,360	236,444	141,976	134,499

※1 町田駅前、南町田駅前、玉川学園駅前連絡所は、賃貸建物のため減価償却費を計上していません。

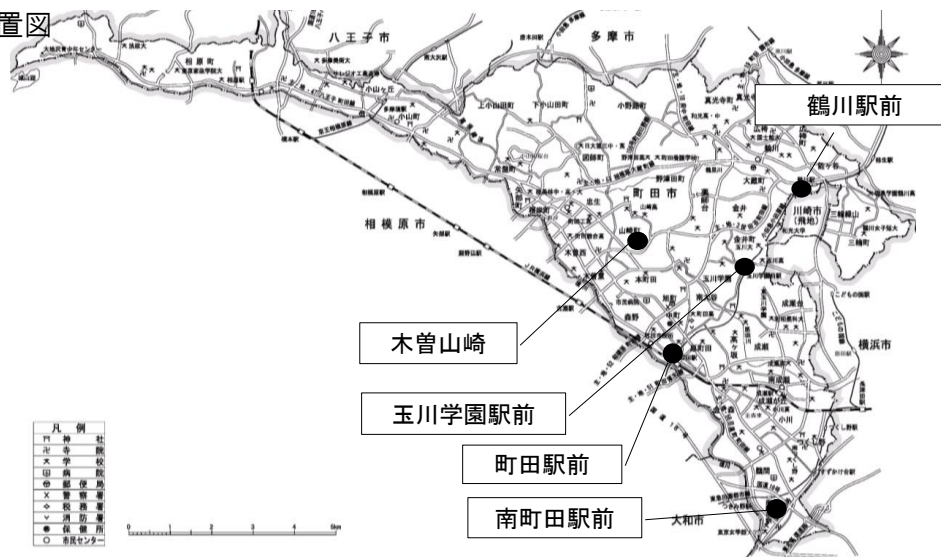
※2 複合施設については減価償却費を面積按分して算出しています。

	木曽山崎	鶴川駅前
建物減価償却費(千円)	15,607	86,684
複合施設全体面積(m <sup>2</sup> )	2,105	5,979
連絡所面積(m <sup>2</sup> )	1,611	67
按分減価償却費(千円)	11,944	971

※3 証明書交付、各種申請受付等の行政窓口取扱件数

※4 ホール・会議室等の施設利用人数

## 2 施設配置図



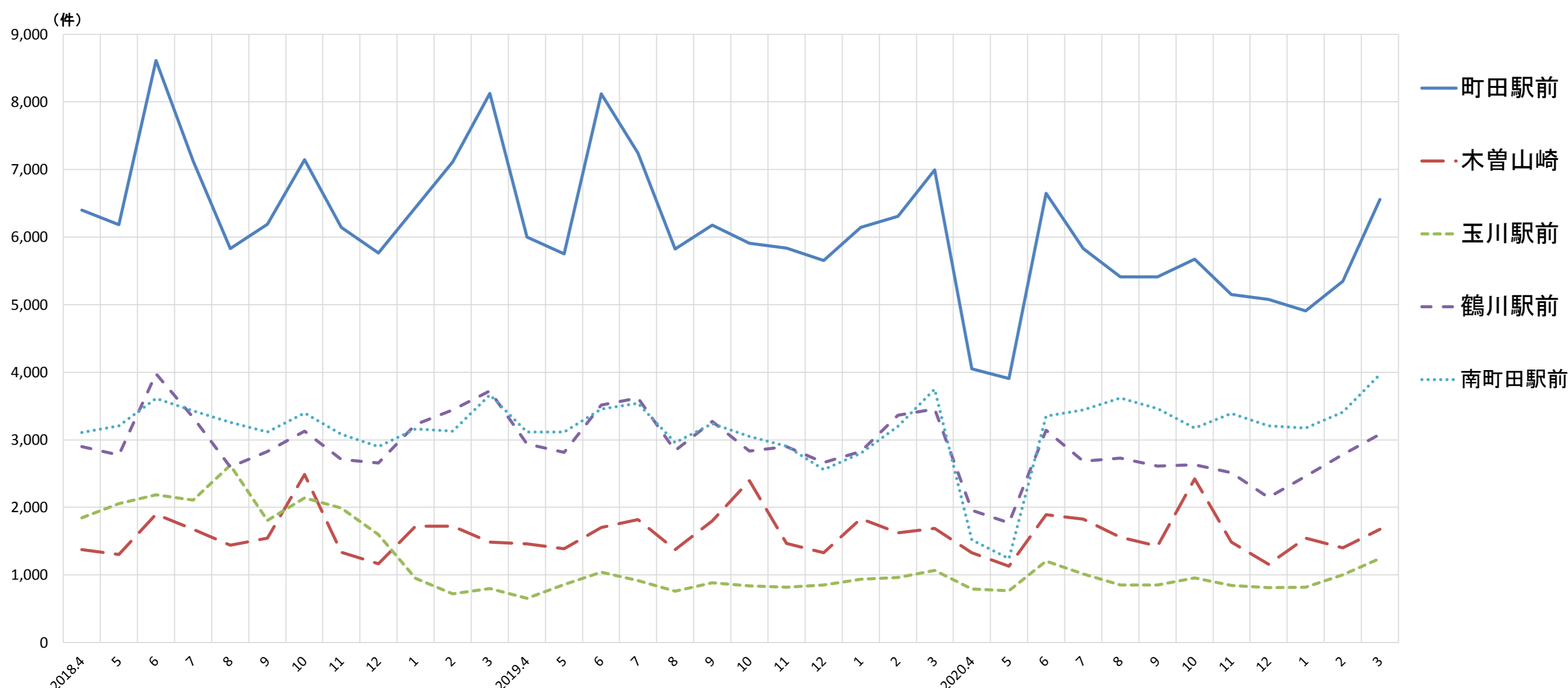


### 3 事業の成果の月次推移

行政窓口取扱件数

(単位: 件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2018年度	町田駅前	6,397	6,184	8,614	7,128	5,832	6,192	7,146	6,143	5,763	6,439	7,116	8,128	81,082
	木曾山崎	1,374	1,305	1,897	1,675	1,443	1,544	2,487	1,334	1,166	1,723	1,724	1,483	19,155
	玉川駅前	1,846	2,054	2,189	2,108	2,624	1,804	2,138	1,990	1,598	949	721	802	20,823
	鶴川駅前	2,897	2,774	3,978	3,332	2,597	2,824	3,131	2,707	2,655	3,224	3,440	3,723	37,282
	南町田駅前	3,110	3,205	3,612	3,432	3,258	3,117	3,395	3,084	2,900	3,159	3,130	3,663	39,065
	計	15,624	15,522	20,290	17,675	15,754	15,481	18,297	15,258	14,082	15,494	16,131	17,799	197,407
2019年度	町田駅前	6,003	5,751	8,120	7,244	5,824	6,177	5,909	5,835	5,654	6,143	6,310	6,998	75,968
	木曾山崎	1,460	1,387	1,699	1,820	1,374	1,800	2,397	1,469	1,332	1,830	1,623	1,687	19,878
	玉川駅前	654	855	1,040	917	762	885	839	817	850	934	964	1,069	10,586
	鶴川駅前	2,941	2,815	3,513	3,617	2,839	3,269	2,835	2,899	2,663	2,827	3,365	3,453	37,036
	南町田駅前	3,114	3,117	3,456	3,543	2,955	3,242	3,051	2,907	2,558	2,799	3,201	3,747	37,690
	計	14,172	13,925	17,828	17,141	13,754	15,373	15,031	13,927	13,057	14,533	15,463	16,954	181,158
2020年度	町田駅前	4,051	3,907	6,645	5,832	5,413	5,414	5,676	5,147	5,075	4,911	5,343	6,559	63,973
	木曾山崎	1,326	1,129	1,890	1,826	1,561	1,429	2,420	1,489	1,160	1,545	1,402	1,674	18,851
	玉川駅前	793	768	1,205	1,018	852	851	954	846	811	819	1,003	1,241	11,161
	鶴川駅前	1,958	1,771	3,142	2,685	2,730	2,611	2,633	2,516	2,149	2,461	2,781	3,084	30,521
	南町田駅前	1,521	1,241	3,349	3,441	3,621	3,465	3,177	3,393	3,208	3,176	3,409	3,968	36,969
	計	9,649	8,816	16,231	14,802	14,177	13,770	14,860	13,391	12,403	12,912	13,938	16,526	161,475
2020年度 対前年度 比率	町田駅前	67.5%	67.9%	81.8%	80.5%	92.9%	87.6%	96.1%	88.2%	89.8%	79.9%	84.7%	93.7%	84.2%
	木曾山崎	90.8%	81.4%	111.2%	100.3%	113.6%	79.4%	101.0%	101.4%	87.1%	84.4%	86.4%	99.2%	94.8%
	玉川駅前	121.3%	89.8%	115.9%	111.0%	111.8%	96.2%	113.7%	103.5%	95.4%	87.7%	104.0%	116.1%	105.4%
	鶴川駅前	66.6%	62.9%	89.4%	74.2%	96.2%	79.9%	92.9%	86.8%	80.7%	87.1%	82.6%	89.3%	82.4%
	南町田駅前	48.8%	39.8%	96.9%	97.1%	122.5%	106.9%	104.1%	116.7%	125.4%	113.5%	106.5%	105.9%	98.1%
	計	68.1%	63.3%	91.0%	86.4%	103.1%	89.6%	98.9%	96.2%	95.0%	88.8%	90.1%	97.5%	89.1%



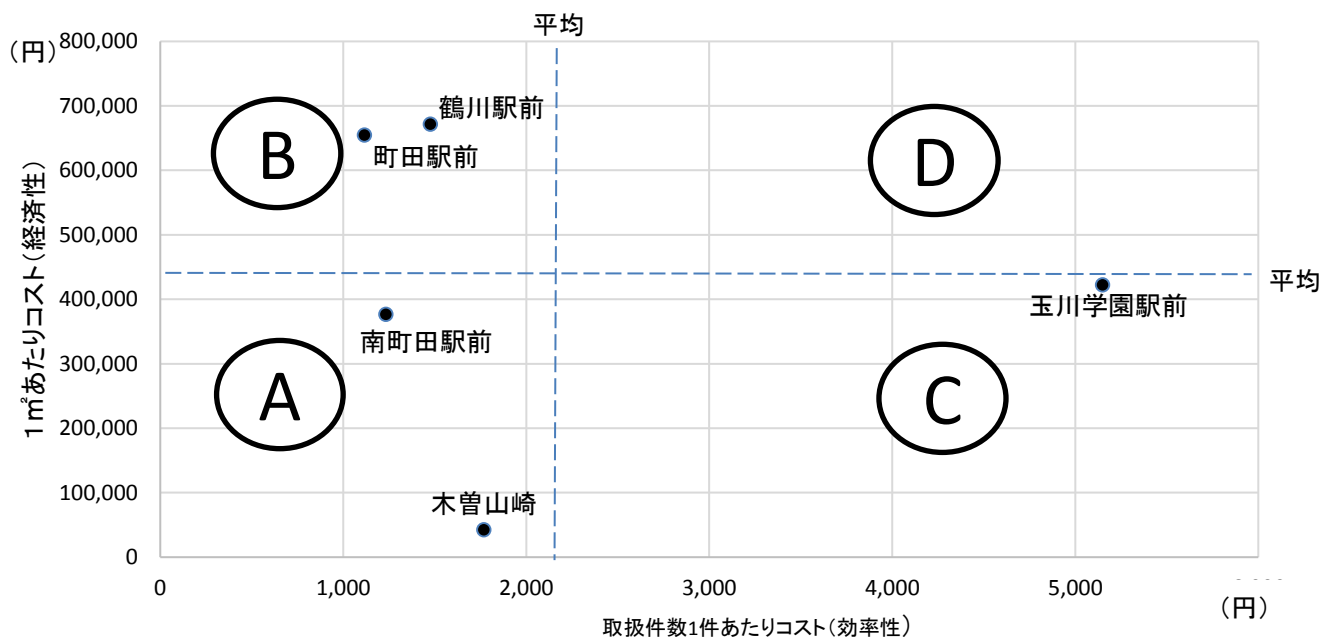
### 4 事業の成果の月次推移の分析

- ①2020年4月5月は、行政窓口取扱件数が減少しています。これは、新型コロナウイルス感染症の拡大により緊急事態宣言が発出されたためです。
- ②例年、3月は住所異動等の増加、6月は税務証明書の年度切替、9月・10月はシルバーパスの申請やUR都市機構入居者の減額措置の申請により、証明書交付件数が増加するため、行政窓口取扱件数が多くなっています。

## 5 2019年度決算で掲げた施設マネジメント改善のための取り組み

・新型コロナウイルス感染症対策を万全にし、来所者に安全で行き届いたサービスの提供を目指します。証明書発行件数の減少やマイナンバーカードの普及、問い合わせの増加などから、連絡所のあり方について検討する必要があります。木曾山崎連絡所は施設利用率向上のため、近隣にオープンした桜美林大学へ施設を利用した活動を案内することで、学生の利用促進を図ります。また、安全で安心して施設を利用するために計画的な修繕等を実施して適切な維持管理を行っていきます。玉川学園駅前連絡所は、現在の仮設事務所において来所者の動線に配慮したフロア環境を整備するなどさらに利便性を高めます。また、建替え後の新しい施設に関しては、備品や各部屋の適正な利用方法を決定するなど、2021年5月の開設に向けて準備を進めていきます。

## 6 効率性・経済性を軸にした分析グラフ



## 7 分析欄

### ①人件費の特徴について

全体の特徴: 平日の夜間や土日でも開所している町田駅前連絡所、鶴川駅前連絡所、南町田駅前連絡所と比べると、玉川学園駅前連絡所及び木曾山崎連絡所は、職員の配置人員が少なくなっています。

Bの特徴: 町田駅前連絡所は、市内で最も乗降者が多い町田駅前という利便性の高い立地であること、平日の夜間や土日でも開所していることから、配置されている人員が他の連絡所に比べて多いため、人件費も高くなっています。

### ②施設規模の特徴について

Aの特徴: 木曾山崎連絡所は、行政窓口業務のほかに貸出施設業務も行っていることから、他の連絡所に比べて施設規模が大きく、1㎡あたりコストは低くなっています。

Bの特徴: 鶴川駅前連絡所は、延床面積が他の施設に比べて狭く、1㎡あたりのコストは高くなっています。

### ③行政窓口取扱件数、施設利用者数の特徴について

全体の特徴: マイナンバー制度による情報連携により証明書が不要になったことや、コンビニ交付の増加により、証明書交付件数は減少しています。

Aの特徴: 木曾山崎連絡所は、施設の老朽化による維持補修費や減価償却費が単位あたりコストに大きく影響しています。南町田駅前連絡所は、取扱総件数のうち21,685件が図書館の予約資料受渡しサービスでの利用となっています。

Bの特徴: 鶴川駅前連絡所は、複合施設の中にあり、図書館の利用やホールの利用と合わせて立ち寄る利用者が多く、証明書交付等の本来業務以外の問い合わせが多くなっています。

Cの特徴: 玉川学園駅前連絡所は、建替えに伴い玉川学園コミュニティセンターを閉鎖しているため、貸出施設の利用実績、コストともに発生していません。また、2021年5月のコミュニティセンター開設に向け、必要な物品等を購入したことなどにより、取扱件数1件あたりコストが連絡所の中で最も高くなっています。

## 8 施設マネジメント改善のための今後の取り組み

・マイナンバー制度による情報連携やコンビニ交付の増加などにより、今後は更に証明書の交付件数が減少すると考えられるため、証明書発行に特化した窓口機能の見直しを検討する必要があります。

・老朽化が進んでいる木曾山崎連絡所は安全・安心な施設を維持するために、引き続き計画的な維持補修及び改修を行います。

・玉川学園駅前連絡所は、2021年5月にコミュニティセンターが開所します。来所者の動線に配慮したフロア環境の整備、広報活動による施設利用の促進に努めます。

・施設に安心して来所いただけるよう、今後も新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を徹底します。

# 同種施設比較分析表(ふれあい館)

## 1 各施設の情報

		もみじ館 (金森)	いちよう館 (鶴川)	もっこく館 <sup>※1</sup> (町田)	くぬぎ館 <sup>※1</sup> (木曽山崎)	けやき館 <sup>※1</sup> (堺)	桜館 <sup>※2</sup> (小山田)
基本情報	該当ページ	230	232	234	236	238	240
	建設年月日	1975年2月28日	1978年1月5日	1989年3月22日	1982年10月13日	1983年3月31日	1994年3月17日
	有形固定資産減価償却率	74.6%	56.2%	-	-	-	51.2%
行政費用(千円)	人件費	18,557	15,982	13,432	21,771	16,602	829
	物件費	7,271	8,879	7,257	6,790	3,707	34,736
	うち委託料	5,338	6,139	4,590	4,600	2,520	34,603
	うち光熱水費	1,148	1,294	1,914	816	566	0
	指定管理委託料 うち光熱水費 <sup>※3</sup>						4,238
	指定管理委託料 うち人件費 <sup>※3</sup>						17,262
	維持補修費	2,665	285	261	1,197	381	0
	補助費等	44	78	68	20	54	0
	減価償却費	2,422	6,590	4,494	3,659	5,162	15,068
	賞与・退職手当引当金繰入額	65	0	0	65	524	76
	行政費用合計	31,024	31,814	25,512	33,502	26,430	50,709
単位あたりコスト分析	延床面積(m <sup>2</sup> )	581	720	826	493	359	1,074
	1㎡あたりコスト(円)	53,398	44,186	30,886	67,955	73,621	47,215
	利用総人数(人)	6,599	6,631	5,727	8,319	3,809	7,063
	利用者1人あたりコスト(円)	4,701	4,798	4,455	4,027	6,939	7,180
	開館日数(日)	160	160	153	160	160	160
	開館1日あたりコスト(円)	193,900	198,838	166,745	209,388	165,188	316,931

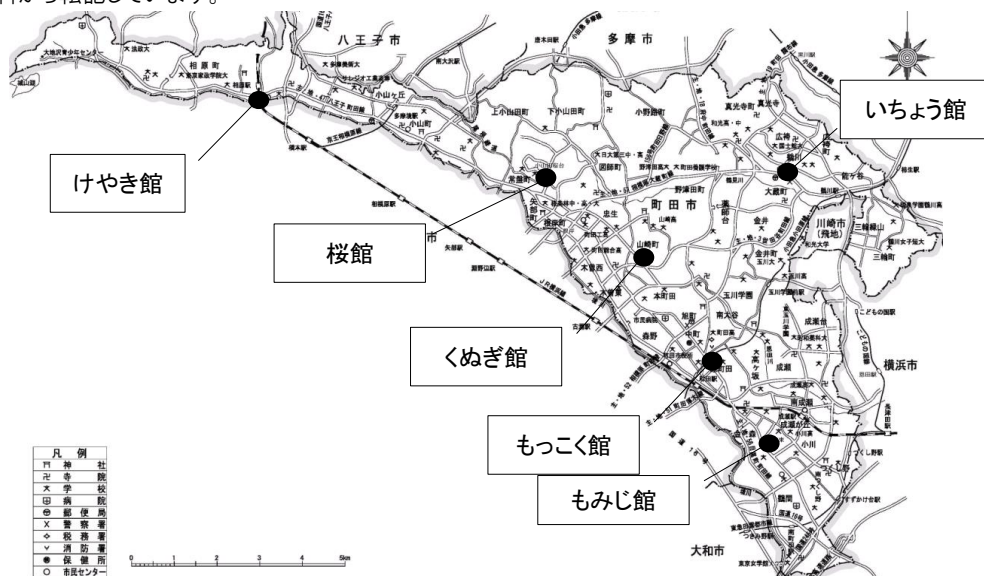
※1 複合施設については減価償却費を面積按分して算出しています。

	もっこく館	くぬぎ館	けやき館	桜館
建物減価償却費(千円)	24,105	15,607	41,125	39,621
複合施設全体面積(m <sup>2</sup> )	4,429	2,105	2,863	2,824
ふれあい館面積(m <sup>2</sup> )	826	493	359	1,074
按分減価償却費(千円)	4,494	3,659	5,162	15,068

※2 桜館については、デイサービス(1F)等に係る減価償却費を面積按分で控除し、老人福祉センター(2F)分のみを算出しています。

※3 受託法人の決算資料から転記しています。

## 2 施設配置図

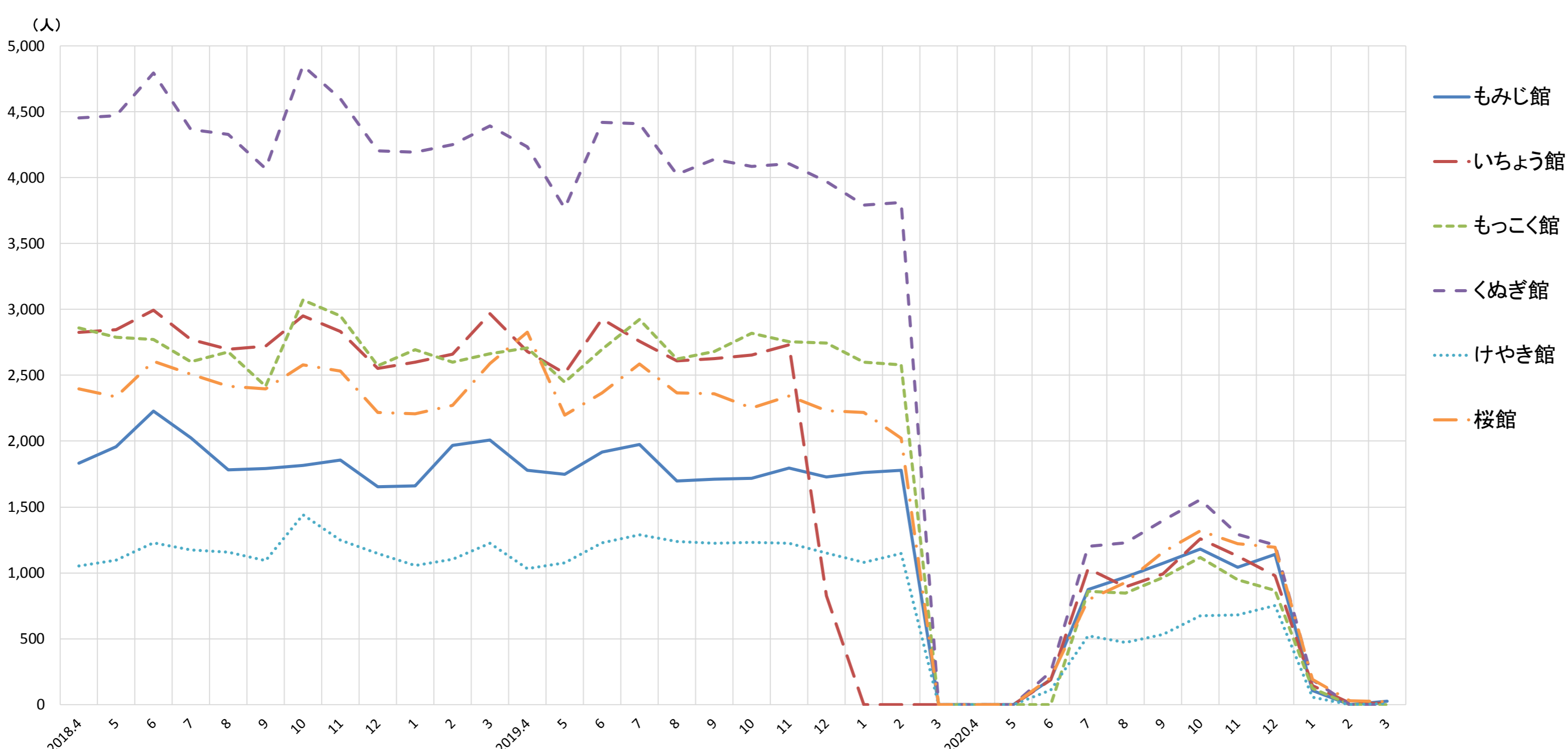


### 3 事業の成果の月次推移

各施設利用人数

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2018年度	もみじ館	1,832	1,958	2,228	2,024	1,783	1,793	1,815	1,856	1,653	1,661	1,969	2,010	22,582
	いちよう館	2,825	2,845	2,994	2,771	2,699	2,721	2,950	2,832	2,552	2,599	2,660	2,966	33,414
	もっこく館	2,861	2,790	2,770	2,604	2,677	2,418	3,071	2,950	2,573	2,693	2,601	2,662	32,670
	くぬぎ館	4,452	4,469	4,795	4,364	4,330	4,070	4,850	4,598	4,205	4,193	4,250	4,391	52,967
	けやき館	1,053	1,096	1,229	1,175	1,157	1,092	1,441	1,247	1,147	1,057	1,105	1,224	14,023
	桜館	2,396	2,336	2,606	2,507	2,418	2,396	2,578	2,533	2,217	2,206	2,271	2,590	29,054
	計	15,419	15,494	16,622	15,445	15,064	14,490	16,705	16,016	14,347	14,409	14,856	15,843	184,710
2019年度	もみじ館	1,779	1,750	1,917	1,975	1,698	1,712	1,717	1,796	1,728	1,763	1,780	0	19,615
	いちよう館	2,679	2,514	2,928	2,757	2,611	2,627	2,653	2,732	827	0	0	0	22,328
	もっこく館	2,708	2,447	2,699	2,922	2,624	2,682	2,819	2,756	2,743	2,599	2,579	0	29,578
	くぬぎ館	4,233	3,767	4,419	4,411	4,026	4,139	4,086	4,106	3,969	3,793	3,812	0	44,761
	けやき館	1,031	1,077	1,228	1,289	1,239	1,226	1,231	1,226	1,149	1,080	1,146	0	12,922
	桜館	2,827	2,198	2,366	2,585	2,366	2,361	2,253	2,343	2,231	2,217	2,022	0	25,769
	計	15,257	13,753	15,557	15,939	14,564	14,747	14,759	14,959	12,647	11,452	11,339	0	154,973
2020年度	もみじ館	0	0	190	874	967	1,072	1,180	1,044	1,140	107	0	25	6,599
	いちよう館	0	0	187	1,032	893	992	1,258	1,126	978	144	12	9	6,631
	もっこく館	0	0	0	859	846	965	1,116	949	868	124	0	0	5,727
	くぬぎ館	0	0	248	1,200	1,228	1,397	1,556	1,292	1,211	187	0	0	8,319
	けやき館	0	0	109	521	471	534	673	681	753	58	0	9	3,809
	桜館	0	0	206	797	929	1,156	1,320	1,221	1,193	190	29	22	7,063
	計	0	0	940	5,283	5,334	6,116	7,103	6,313	6,143	810	41	65	38,148
2020年度 対前年度 比率	もみじ館	皆減	皆減	9.9%	44.3%	56.9%	62.6%	68.7%	58.1%	66.0%	6.1%	皆減	皆増	33.6%
	いちよう館	皆減	皆減	6.4%	37.4%	34.2%	37.8%	47.4%	41.2%	118.3%	皆増	皆増	皆増	29.7%
	もっこく館	皆減	皆減	皆減	29.4%	32.2%	36.0%	39.6%	34.4%	31.6%	4.8%	皆減	-	19.4%
	くぬぎ館	皆減	皆減	5.6%	27.2%	30.5%	33.8%	38.1%	31.5%	30.5%	4.9%	皆減	-	18.6%
	けやき館	皆減	皆減	8.9%	40.4%	38.0%	43.6%	54.7%	55.5%	65.5%	5.4%	皆減	皆増	29.5%
	桜館	皆減	皆減	8.7%	30.8%	39.3%	49.0%	58.6%	52.1%	53.5%	8.6%	1.4%	皆増	27.4%
	計	0.0%	0.0%	6.0%	33.1%	36.6%	41.5%	48.1%	42.2%	48.6%	7.1%	0.4%	0.0%	24.6%



### 4 事業の成果の月次推移の分析

- ①2020年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、4月1日から6月22日まで全館休館しました(もっこく館は6月30日まで休館)。
- ②2021年は2度目の緊急事態宣言発出に伴い、1月8日から3月31日まで全館休館しました。
- ③カラオケ等一部サービスの中止や、午前午後入れ替え制等の新しい利用ルールの下でふれあい館を運営しましたが、休館期間が無かった月においても各館利用人数が前年度の同時期と比較し減少しました。
- ④いちよう館における2020年12月来館者数の対前年度比118.3%は、2019年12月9日から改修工事に伴う休館があった影響で、2019年12月の開所日数が7日間であったためです。

## 5 2019年度決算で掲げた施設マネジメント改善のための取り組み

・行政経営改革プランに基づき、管理運営コストの削減を図るため、ふれあい館全体として、効果的、効率的な管理運営体制への見直しを検討します。

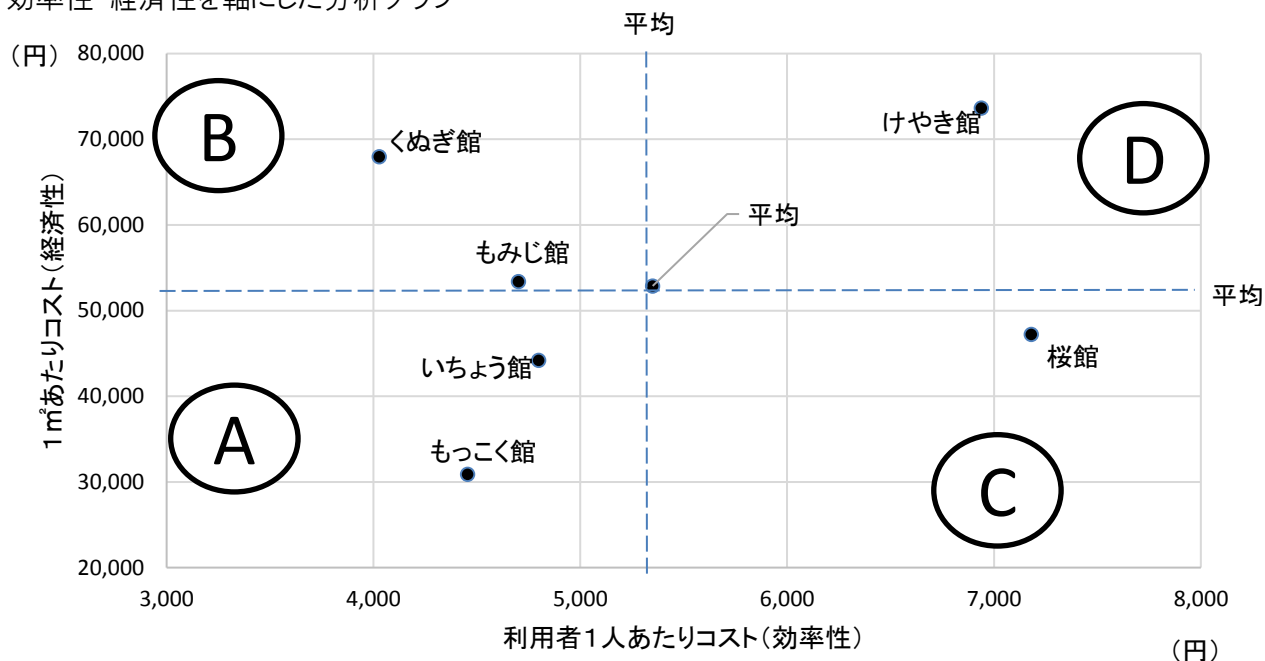
・検討に当たっては、6「効率性・経済性を軸にした分析グラフ」において、各館のグラフ上の位置をA区分に近づける視点が求められています。

・A区分に近づけるためには、行政費用のコスト削減、利用者数の増加を目的とした取り組みが有効と考えられます。

・利用者増に繋がった取り組みは、他館にも取り入れることで、ふれあい館全体の利用者増に繋げることが必要です。

・6「効率性・経済性を軸にした分析グラフ」におけるコストについては、ふれあい館間の比較だけでなく、近隣自治体の同種施設との比較も行い、適正なコストを検討していく必要があります。

## 6 効率性・経済性を軸にした分析グラフ



## 7 分析欄

### ①人件費の特徴について

全体の特徴：ふれあい館の行政費用の内、最も多くの割合を占めているのは人件費です。

・6館のうち、桜館のみ指定管理者制度を導入しています。このため桜館の人件費は他の5館の平均の4.8%となっています。

・桜館を除く5館の行政費用に対する人件費の割合の平均は、58.2%です。

### ②1㎡あたりコストの特徴について

・1㎡あたりコストの平均は52,877円です。

・けやき館及びくぬぎ館は他館と比較し延べ床面積が小さいため、1㎡あたりコストが大きくなっています。

### ③利用者1人あたりコストの特徴について

・利用者1人あたりコストの平均は5,350円です。

・新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う休館の影響により、各館とも昨年度と比較し利用者数が減少した結果、利用者1人あたりコストが増加しています。

## 8 施設マネジメント改善のための今後の取り組み

・ふれあい館に求められる機能やサービス等、ふれあい館の今後のあり方を検討する「ふれあい館のあり方検討」を実施します。

・全てのふれあい館において利用者1人あたりコストが増加傾向にあるため、「ふれあい館のあり方検討」の中で、ふれあい館全体として、効果的、効率的な管理運営への検討を行います。

・「6 効率性・経済性を軸にした分析グラフ」におけるコストについては、ふれあい館間の比較だけでなく、近隣自治体の同種施設との比較も行い、適正なコストを検討していく必要があります。

